



京都府立鴨沂高等学校同窓会

奨学金制度

2024（令和6年）年度 奨学生

寄稿文

奨学金をいただいて

3年 M H

この度は同窓会奨学金によるご支援をしていただきありがとうございました。いただいた奨学金は受験に必要な参考書の購入に使わせていただきました。父が亡くなって以来、母が一人で家庭を支えてくれました。そんな母に国公立を受験するにあたり、参考書の購入など金銭面で負担をかけてしまうのではないかと不安を感じていました。ですが、今回の奨学金制度のおかげで必要な参考書を母に負担をかけることなく購入することができました。私は本番である共通テストまであともう少しで。今は不安な気持ちでいっぱいですが、これまで勉強してきたことは必ず私の力になっていると思います。そのため、最後まで気を抜かず勉強に取り組み、本番は自分を信じて頑張りたいと思います。そして必ず私の夢を実現させます。

私の夢は小学校の教員になることです。理想の教員像は子供たちの可能性を広げられるような教員です。今回の奨学金でご支援いただいた経験を通して、私自身も教員として子供達の支えになりたいと改めて感じる事ができました。そしてそばで「支える」ことで子供達の可能性をどんどん伸ばしていけるような教員になります。

改めまして鴨沂高等学校同窓会の方々、一年間の奨学金の給付をしていただきありがとうございました。大学進学後も同窓会の方々にご支援いただいたことに感謝を忘れずに私なりに努力を続けていきたいと思っています。

奨学金をいただいて

2年 N Y

この度は、鴨沂高校同窓会の奨学生として奨学金のご支援をいただきありがとうございました。母子家庭の私にとって、今回奨学金をご支援いただけたことは本当にありがたく心から感謝しています。

私は、英語教師や通訳などの英語に関わる職業に憧れを抱いていますが、自分自身将来就きたい職業はまだ具体的には決まっていません。将来自分がやりたいことは何か、自分に向いた職業は何なのかを見つけるために、高校卒業後は大学進学を目指しています。私は、大学進学に向けて本格的に勉強を進めていくために塾に通い始めたのですが、母子家庭という事情もあり、金銭面において全く余裕がなく、とても不安に感じていました。しかし、今回ご支援いただいた奨学金を塾の費用や参考書の購入などに充てることができ、そのおかげで金銭面の不安もなくなり、学業に専念することができました。

私はこれからも奨学金をご支援いただいたことへの感謝を忘れず、大学進学のために学業に専念し全力で取り組んでいきます。そして大学へ進学したら、自分自身としっかり向き合い、将来就きたい職業について真剣に考えていきたいです。また自分自身と向き合っていく中で、「自分自身を愛せる人」、また「誰からも愛される人」になりたいです。

鴨沂高校同窓会の奨学生として恥じぬよう自分の将来に向けて真剣に取り組み、「自分自身を愛せる人」、「誰からも愛される人」になれるよう、今後も精進していきます。

この度は本当にありがとうございました。

奨学金をいただいて

2年 H M

この度は奨学金をご支援していただき誠にありがとうございます。いただいた奨学金は、これから必要になっていく参考書や模試代などに使っていこうと思っています。三人兄弟でみんなお金がとてもかかる時期なのにさらに参考書が必要になったり、模試を受けるようになったら、よりお金が必要になってきます。さらに、私は将来、看護師になりたいので大学に行っても学費が高かったり、授業料とは別に聴診器などの道具代もかかってくるので、親に負担をかけてしまうことを申し訳なく思っていました。そのことを担任の先生に相談したことがきっかけで同窓会の奨学金制度を知り、奨学金をいただくことになりました。2年生で奨学金を受け取ることができたので、これから3年生になってどんどん参考書が必要になったり、模試をたくさん受けることになってもお金のことは気にせず、思う存分勉強に集中することができるようになったと思います。

今回このような支援を受けさせていただいて、私も社会に出たとき、「困っている人に手を差し伸べれるような人間」になりたいと思うようになりました。私は、社会には困っている人に手を差し伸べてくれる人がいるということを知れただけでも気持ちが楽になりました。また、自分のことを知らない誰かが自分を応援してくれていると考えた時、すごく温かい気持ちになりました。このような経験はなかなかできることではないと思います。この貴重な体験を無駄にしないように、まずは小さなことからコツコツと行動していきたいです。具体的に、私が苦手であるコミュニケーションをとることを意識したいです。そして、恩返しができるように頑張っていきたいです。この度は本当にありがとうございました。

支 え

3年 W S

この度は、同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。私の父の仕事上、コロナの影響を大きく受けていたことや去年発覚した父のガンの影響もあり経済的に厳しく、父に頼りっぱなしだったこともあったので私自身もアルバイトをしながら家計に携わってきました。その時に同窓会奨学金制度を知り、出願させていただきました。本当は自分の行きたい大学を選ぶよりもあまりお金のかからないことを一番に考えて大学選びをしていました。しかしこの奨学生に採用していただいたことで少しでも自分の希望を叶えられるようになって気持ちが楽になりました。奨学金の使い道については主に受験料に利用したいと思っています。また、この奨学金のおかげで自分の行きたい大学に出願しやすくなり、勉強にも力を入れることができますと思います。本当に同窓会の皆さんのおかげで挑戦する幅が広がり、気持ち的な余裕もできて感謝しかありません。この同窓会の皆さんに支えられているということを糧に第一志望への勉強にもっと熱を出していきたいし、皆さんの支えを無下にしないように最後まで頑張ろうという気持ちになりました。

このように同窓会奨学金制度は私だけでなく他の生徒の支えになる制度だと思うので今回のことを自分の中で留めておくのではなく、他の生徒たちにも共有して少しでも多くの生徒の挑戦の幅が広がるように自分自身ができることをして同窓会の皆さんのように誰かの助けとなる活動を少しでも行っていきたいなと思いました。

奨学金をいただいて

3年 R E

この度は、一年を通して進路実現のために支援してくださりありがとうございました。
いただいた奨学金は主に模試や参考書の費用として使わせていただきました。私は母子家庭で育ったため、金銭面的な部分では常に不安を抱えていました。模試を受けたりだとか、受験に向けての準備の費用をどのように工面するかが大きな問題でした。そんな中、奨学金をいただけることが決まり、その心配をすることなく、大学受験に向けて日々勉学に励もうと決意することができました。日々の学びに対する経済的な負担が軽減されたことは、非常に大きな励みとなり、学問に専念するための力となっています。まだ私は、大学共通テストが残っているため、進路実現を目指して最後の最後まで頑張りたいと思います。

この支援のおかげで、自分のやりたいことが決まり、目標に向けて全力ですすむことができます。私は志望している国公立大学に入学し、将来に向けて知識を深め、自分自身も成長していきたいです。また、授与式の際に会長様や関係者の方々から温かい言葉をかけていただきました。そのお一人お一人のお言葉が、私にとってどれほど励みになったか計り知れません。改めてそのお言葉に応えられるよう、これからも一層努力していきたいと強く思いました。

この奨学金を通じて支えてくださった方々に感謝し、伝統ある鴨沂高校の生徒の一人として恥じぬよう、日々精進していきたいと思います。本当にありがとうございました。

奨学金をいただいて

3年 R T

この度は同窓会奨学金を給付してくださりありがとうございました。私には小さい頃からの夢があり、そのため進学したい学校もある程度自分の中で決まっていました。ですが、家の金銭面にそれほど余裕はなくどうしようかと迷っていたところ、担任の先生からこの奨学金制度のお話を聞き出願することを決めました。今回いただいた奨学金は自分が進学する専門学校の授業料や学校で使用する教科書代などに使わせていただきます。この奨学金のおかげで少しだけ親にかかる負担を軽減することができたと思います。私が専門学校へ進学することができたのも、自分の努力や先生方の指導だけでなくこの奨学金による支援があったからだと思っています。今回の支援のおかげで私は、様々な人に支えられていることに気づくことができました。進学することができたこともこのご支援があったからだということを忘れずに、専門学校で夢に向かって勉強面や実習面で様々な経験を積んで行きたいと思っています。これからの学校生活は楽しいことだけでなくしんどくなることもあると思いますが、みんなで支え合い何事にも全力で取り組んでいけるよう頑張りたいです。どんな時でも諦めず、努力して自分の夢を叶えられるようこれからも励んでいきたいと思っています。

改めまして、同窓会の皆様、一年間奨学金を給付していただき本当にありがとうございました。これからも感謝の気持ちを忘れず、たくさんの人に支えられていることを忘れずに過していきたいです。